

大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻（博士前期課程）

アドミッションポリシー（入学者受入方針）

看護科学領域

看護職としてより高度な専門性を修得することを基本目標とします。

特に、看護研究とは何かを、研究計画の立案、研究の遂行を通して、自ら体得できる人材を育てることを目的とします。したがって、以下のような方の応募を期待します。

- ・看護学の研究の基礎となる学問領域を学びたい人。
- ・博士後期課程に進みたい人。

医療科学領域

本領域では生体情報を扱う医療画像技術、放射線治療技術、組織・細胞・生体分子を対象とする臨床検査技術、及び医工学手法を融合した生体情報計測・検査技術を対象とし、先端的で独創的な高度医療専門職、教育者、研究者を育成し、「医療科学」の確立・発展を目指しています。

したがって、以下のような人材を求めています。

「医療科学」における基礎的及び臨床的な知識獲得に真摯でリーダーとなるべき素養を備えた人。

指導的役割を担う教育者、研究者及び専門技術者となりうる意欲あふれた人。

新たな医療環境情勢に適応できる柔軟性を備えた人。

リハビリテーション科学領域

理学療法士と作業療法士の需要の増大に対して、より高度な専門職としての発展をリードし、効果の基礎と根拠を示す研究あるいは治療技術の開発に携わる人材の育成を目標としています。

具体的には、運動器障害、高次脳神経機能障害などの解析、評価、治療、回復と自立のための、臨床技術と基礎的解析学の研究を実施する過程でリハビリテーション科学の発展に寄与したいと願う学生を求めています。